

令和6年2月22日

総務教育常任委員会会議録

塩竈市議会事務局

塩竈市議会総務教育常任委員会会議録

令和6年2月22日（木曜日）午前10時00分開会

出席委員（6名）

浅野敏江 委員長

佐藤公男 副委員長

桑原成典 委員

西村勝男 委員

鎌田礼二 委員

小高洋 委員

欠席委員（なし）

事務局出席職員氏名

事務局 長 相澤和広

議事調査係 長 石垣 聡

議事調査係 主査 工藤 聡美

議事調査係 主査 梅森 佑介

会議に付した事件

請願第1号 塩竈市小中学校の学校給食費無償化を求める請願

午前10時00分 開会

○浅野委員長 おはようございます。ただいまから総務教育常任委員会を開会いたします。

傍聴者に申し上げます。

携帯電話等お持ちの方は電源を切るようお願いいたします。また、撮影および録音については許可いたしませんので、ご協力願います。

本日の審査の議題は、請願第1号、塩竈市小中学校の学校給食費無償化を求める請願の1件であります。

これより議事に入ります。

事務局に請願文書表を朗読させます。議事調査係石垣係長。

○石垣議事調査係係長 はい、それでは請願文書表を朗読させていただきます。

令和6年2月14日、塩竈市議会定例会請願文書表、番号第1号、受理年月日令和6年2月14日、件名、塩竈市小中学校の学校給食費無償化を求める請願、要旨、請願の要旨、一つ、塩竈市小中学校の全児童生徒の給食費を無償にしてください。二つ小中学校の給食費を全国一律に無償化するよう国、県に要望してください。請願の理由、憲法第26条は「義務教育はこれを無償とする」と明記しています。しかし、現在保護者が負担する学校給食費は、副教材費など様々な費用の中で最も重い負担となっています。また、新型コロナウイルス感染症による保護者の失業や物価高騰の影響で、多くの保護者が経済的に苦しい状況に追い込まれています。子供の貧困が約7人に1人という現状の中で、給食費無償化への願いは切実です。文部科学省は給食を「食育」として位置づけ、生活の基本である食事、食文化を伝える教育の柱の一つになっています。子供たちの健やかな成長を保障し、全ての市民が安心して産み育てることができる環境を実現するために、「小中学校の全児童生徒を対象にした給食費の無償化」を求めます。以上の通り請願いたします。

提出者塩釜学校給食費の無償化を求める会代表小沢かつ、紹介議員辻畑めぐみ、鈴木悦代、付託委員会総務教育常任委員会、以上でございます。

○浅野委員長 ありがとうございます。これより請願紹介議員より請願趣旨の説明を求めます。

辻畑めぐみ議員。

○辻畑めぐみ議員 はい、ありがとうございます。県内では、栗原市、角田市、気仙沼市など、11市町村で完全無償化が実施されており、一部助成を含めると、14の市町村が給食費

への支援を行っています。来年度からは、山元町が一部から完全無償化となる予定になっております。青森県では、新年度から県内全市町村で、無償にする予算が提案されています。

議会としても、給食無償化を願う保護者の思いをぜひ受け止めてほしいと思います。よろしくお願い申し上げます。

○浅野委員長 これより質疑を行います。

委員各位のご発言をお願いいたします。小高委員。

○小高委員 はい、ではちょっと冒頭、口火を切らせていただきまして、それで先ほど紹介議員の辻畑議員の方からもご発言ありましたとおり、この間、実施自治体というものがどんどん増えてきていると、その背景には何があるのかということを考えますと、一つ目は、当然ながらコロナ禍あるいは物価高騰ということでの、子育て世帯への経済的な負担軽減を求める声というのが全国的に高まっているという中で、公立の小・中学校の学校給食費を無償化した自治体は非常に増えているということは、まさに目の前の現実としてあるかと思っております。そういった中でこの間、一般質問等々でもお聞きしてきましたけれど、内閣府の調査室の調査のレポートなんかも読ませていただきましたが、やはりその一つに、いわゆるその給食費と、月額で大体 4,000 円 5,000 円、年間で5万円4万円と、そういった額が、非常に生活においては厳しいという状況があるということも、この間わかったかと思っております。それで、全国的にもどうなんだろうということですが、平成29年度時点では、小中学校とも学校給食費を無償化してるのが、76の自治体でしかなかったということもあったそうなんですけれど、この間、新型コロナの関係の交付金の活用等々も含めて、令和4年度には全国1600の市町村の約3割、451の自治体で実施をしているということもわかりました。

そういった中で、就学援助等々の制度もあるわけですが、その特に、貧困家庭にあっては、家計での食費が削減されていく中で、多くの子供が良質な栄養ある食事が摂取できないという中で、学校給食への期待の高まりというのも、一つにはあるのだろうと思っております。

令和5年1月に、異次元の少子化対策に挑戦するということでの流れもあったわけなんですけど、その後具体的にはなかなか進んでこないという中で、自治体としてそれぞれご努力いただきながら実施をしていくということもあるかと思っておりますので、その実施のあり方、その財源をどこに求めるかという考え方、様々あるかと思うのですが、少なくとも、その学校給食費が無償であるという制度そのものについては、これはぜひやるべきだと思っておりますので、

私としては、まず冒頭として、ぜひこれは塩竈市議会としても後押しをしていきたいと、私としては考えていると、まず、最初の発言とさせていただきます。

○浅野委員長 他にご発言はありませんか。桑原委員。

○桑原委員 はい、この請願書になるんですけども、まず、私も一般質問とかでこの給食費の無償化というのを取り上げさせていただきまして、日本全国で給食無償化というのが広がってきているとは思いますが。

ただ、現実、塩竈市で、大体1億9000万財源がかかるという答弁もいただいております、結構、くどく質問をさせていただいたんですけども、なかなか財源の確保というのが、この塩竈市ではちょっと難しいのかと正直なところ思っております。その中で、完全無償化にこだわらず、私は一定程度、段階を踏みつつ完全無償化というのが、今のベストなんではないのかと、だんだん少少し補助を出して、皆様の負担を軽減する。それが今の塩竈市の限界なんではないかと、私は今思っております。ですので、今すぐに完全無償化は、ちょっとなかなか現実的ではないのかと私は思っております。

以上です。

○浅野委員長 他にございませんか。佐藤委員。

○佐藤副委員長 隣の利府町ですけれども、ちょっと調べましたら、本年度までは小学校6年生と中学校3年生だけだったんですね。令和6年度以降は、それを中学校1年生と2年生まで広げるということでありました。今、桑原委員がおっしゃったことと大体そちらの意見に賛同するんですけども、段階ですよ。

一つには、やっぱり塩竈市の財政指数力というのも低いです。1に対して、例えば富谷市が0.85だったり、利府町が0.82だったり、本市においては0.46なんですね。そういう厳しい状況でありますので、一気にというのはかなり厳しいと思います。また、昨年、国の方でも子供予算倍増を掲げておりますし、ときの担当大臣も給食費の無償化については、給食実施率、実施してない自治体もあるわけですね、実施率や保護者負担軽減策等の実態を把握しつつ、課題の整理を行うと語っておりますので、こちらの動向も見ながらですね、本市としても、市長や議員各位と議論を進めながら進めていった方がよろしいかと思っております。

以上です。

○浅野委員長 他にありませんか。西村委員。

○西村委員 今お話になった通りだと思います。それで塩竈市内の小中学校の全児童生徒の給食無償化の前に、やはり自治体の財政規模によって、様々なサービスが異なってくるというのであれば、昨日かな、一昨日の新聞にも、青森県では20億の県の予算を議会で承認されれば、10月から県内無償化にするというような新聞報道もありますように、国・県に対して、最初に要望を出して、また塩竈市としては努力してほしいという部分をメインにしていった方が、そう行かざるを得ないのかという気がします。

自治体の財政事情によっては、子供の受ける行政サービスといいますか、そういう給食費の無償化部分を含めて、学校のいろんな事業の中でも、やっぱり財政規模によって違おうとすると、やはりこれだけは一律全国平均、全国の子供たちが、全て同じような形になるような努力を国に対して要望することが一番メインであり、その中で、それまでの間は、やっぱり塩竈市として、努力をしてほしいという形でやらざるを得ないのかと思ってますので、その辺が一番かと思ってます。よろしくをお願いします。

○浅野委員長 他にご発言ありませんか。小高委員。

○小高委員 今、様々ご議論ありましたけれど、一つには、財源論というところをどう捉えるかというところが、一つ大きなポイントであるなどお聞きをしておりました。それで請願文書表を見させていただきますと、要旨として、まず、無償にしてくださいと、その他、国・県に要望してくださいということで、いわゆる、実施主体であるとか、財源の出所をどのように考えるかというところが、なかなかここだけの議論では、ちょっと深まらないというような思いがあります。また、段階的な無償化という点についても、ここに対して、いついつまでに完全無償化という趣旨でもないもので、そういったことも含めての無償化というところも含めて、請願者がどういう思いであるのかというところを、私はぜひ聞きたいと思います。そういった点で、今回、この委員会の中で、一定の議論があったわけですが、ぜひ、請願者の方々と意見交換できるような状況もあった方がいいのかと思っておりまして、今回の委員会の中で、継続という形をもって、例えば、これまで、一般会議等々を、直接請願者とのやり取りという事例もございましたので、そういった方法も、一つあるのではと、私としては思います。

○浅野委員長 他にご発言ありませんか。暫時休憩いたします。

午前10時14分 再開

○浅野委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

請願第1号については継続審査を求める意見がありますので、継続審査するかについてお諮りいたします。

請願第1号、継続審査とすることに賛成の方の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、請願第1号は継続審査とすることに決定いたしました。

以上で本日の会議は終了いたします。

午前10時15分 閉会

塩竈市議会委員会条例第29条第1項の規定によりここに署名する。

総務教育常任委員長 浅野 敏 江